

アリのさとう

サークルタイムでいつも南犬立発表時に2択クイズをしています。この日の問題は「砂糖は①甘い②辛い のどちらでしょうか?」でした。先生が「ありさんも砂糖好きなんだよ」と言うと、「ぼく、**ありの巣の場所知ってるよ!**」とたくまくん。するとわくくんが「そこに**砂糖置いといたらいいんちゃう?**」という名案を出してくれました。そして、さそく実験してみることに!!

まずは砂糖を味見

口の中に留めて舌で感じたり、よく噛んだりするのは、味覚の発達にとっても重要です!

<あまい> <しょっぱい> <まずい>

どんな味かな?



さとうをくはるよ



色々な感想が出ました。まだ味がよく分からない子も自分なりに、感じた味をこまごまで伝えようとしていました。

<からい>
<おいしい〜>



これがあまいだよ

いよいよありの巣へ

ここにありの巣あるぞー!

どうやって置く?!



ほんとだ!

ここがいいんちゃう?



さとうの山つくろう



ここにも
アリの巣あるぞ!

しばらくすると...

- 30分後 -

2~3匹
アリの姿が!!



しかし、みんなは
外あそびに夢中で
アリのことは
忘れていました。



おー!!

みんなが部屋に戻ってからしばらくして様子を
みにいくと、たくさんのアリが砂糖を運んで
いました!

その様子をビデオに録って見せると...

すごい!!!

いっぱいある

うわあ!!

と、目を輝かせる子もいました!

- 芽生え -

<思考力の芽生え>

"アリの巣に砂糖を置いたらアリが来るのかな?" "ビンに置いてみるのかな?" など
自分達で考えてそれを伝えることができていく。

<自然との関わり>

"砂糖"を通してアリの巣に注目、興味を持つことができていく。
アリの紙芝居を読むと、以前と比べてみんな興味津々で集中していました。

<言葉による伝え合い>

砂糖を舐めて"あまい""おいしい""しょっぱい"など自分なりに感じた味を言い合っ
ていました。